

学校名	小平市立第七小学校	実施年月日	平成17年 2月 10日
指導者	石迫 沢己	授業コード	H-10
学年	4年	教科	算数
単元名	分数		
単元の目標	分数の意味とその表し方について理解し、端数部分の大きさや等分してできる部分の大きさなどを表すのに分数を用いることができる。		
単元の指導計画	第1次 はしたの大きさの表し方 第2次 分数の大きさの表し方		
本時のねらい	長さの等分をとおして端数部分の大きさを表す分数の意味と、単位分数の量感をつかみ、分数を用いた表し方を理解する。		

#### 本時の学習活動の展開

導入	<p>1. めあてを確認し、端の表し方を考えさせる。 めあて：はしたの部分の表し方について考えよう。</p>
展開	<p>2. 既習の小数で表そうと試みる。 3. 端数を表すのに分数があることを知る。 4. 分数の読み方、表し方を知る。 5. いくつ分の1という単位分数の表し方に慣れる。 6. プリントに取り組み単位分数の量感をつかむ。</p>
まとめ	<p>7. 次時の予告をする。 8. お楽しみ問題に取り組む。</p>
デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	<p>算数の分野において、児童に数の量感をつかませることは大変重要である。今回、「分数」という新しい数の領域に入ることから、量感を正確につかませたいという願いがあった。そこで視覚的にとらえ易くするためにデジタルコンテンツによる提示を使用する。リットル枴などの具体物操作によって量感をつかませる指導が一般的だが、デジタルコンテンツを使用することで、短時間に多くの事象を提示できることが効果的と思われる。また、学習意欲の向上を図る上でも効果が期待できる。</p>

(備考1) 枴の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。